

# 平成 29 年度新潟県精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー開催要領

## 1 開催趣旨

どのような人にもライフキャリアは存在している。精神に障害を持つ親にとっては、自分の病状管理だけのことでなく、子どもの養育も意識して生活を送らなければならない。しかし、病気の特性から十分に養育ができずに子どもに影響を及ぼしたり、助けを求めているのに相談まで至らずに一人で抱え込んでしまったりすることがあるのではないか。また、子ども自身も同様に親と向き合うことに戸惑ったり、病気の遺伝の可能性などについて心配したりと様々な不安を抱えていると考えられる。私たち支援者は家庭という視点から、子どもへの歩み寄りができるか。

このような環境にある親子が地域、社会から孤立する生活にならないような支援体制を整えていくことが大切であり、今後の支援や連携のあり方について考える。

## 2 主催（関係 4 団体・1 機関）

新潟県精神医療機関協議会 新潟県精神障害者家族会連合会 新潟県精神保健福祉士協会  
新潟県精神障害者社会福祉施設協議会 新潟県精神保健福祉センター

## 3 プログラム

- (1) 全体テーマ 「精神疾患を抱える家庭へのサポートを考える」
- (2) 日 時 平成 30 年 2 月 23 日（金）午前 10 時 30 分～午後 4 時
- (3) 会 場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 3 階 中会議室  
(新潟市中央区万代島 6-1 電話 025-246-8400)

### (4) 内 容

- 9:30 受付
- 10:30 開会あいさつ 新潟県精神医療機関協議会 会長 染矢 俊幸
- 10:40 基調講演  
演題 「精神障がいの親と暮らす子どもへの支援」  
講師 鈴鹿医療科学大学 看護学部（精神看護学担当）  
准教授 土田 幸子 氏
- 12:00 ～昼休み（1 時間）～
- 13:00 シンポジウム
- ◎シンポジスト
- 当事者の立場から 中山 絵留美（仮名）氏
  - 精神科医の立場から  
新潟県精神医療センター 特任児童思春期精神科医長 杉本 篤言 氏
  - 相談支援事業所専門相談員の立場から  
長岡市福祉保健部福祉課  
障害者基幹相談支援センター 主査（保健師） 齋藤 加奈 氏
  - スクールソーシャルワーカーの立場から  
新潟県教育庁高等学校教育課いじめ対策生徒指導支援室  
高等学校スクールソーシャルワーカー 唐澤 慶子 氏
  - 臨床心理士の立場から  
合同会社カウンセリングルームさくら 代表 小林 奈穂美 氏
- ◎座 長 新潟県精神医療センター 院長 細木 俊宏 氏  
◎助言者 基調講演 講師 土田 幸子 氏
- 16:00 閉会あいさつ 新潟県精神障害者社会福祉施設協議会 会長 金井 妙

### (5) 参加対象者

- ・精神科医療機関職員・障害サービス事業者職員・保健所等相談担当職員
- ・市町村保健師等職員・精神障害者等家族会会員・介護保険関係職員 等（定員 200 名）